



山科区人権映画のつどい

～高齢者の人権について考えてみませんか？～

『ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～』
上映 & 講演会

【1部】
映画上映

『ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～』

(日本語字幕・副音声ガイド付き / 101分)

【2部】
講演会

『いっぱい忘れるけど 忘れられへんことがあるねん』

「こんな大事なことも忘れてしまった」と認知症の方は悔しがります。確かに人は忘れます。特についさっきのことなどは、無情にも消えていきます。しかし、もしかしたら、忘れたこと以上に忘れられないことがあるかもしれないのです。忘れていく悲しみに目を向けてしまいがちですが、ありありと浮かぶ忘れられないあのことを杖にして生きるのも悪くないと思いませんか。

あの日、あの瞬間のあなたの優しい言葉やまなざしは忘れているのです。



【講演者】佐藤 泰子氏
(京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員)



詳しくはこちら
(山科区 HP 二次元コード)

▶日時 令和6年 8月22日(木) 13:30～16:30 (開場 13:00)

▶場所 京都市東部文化会館ホール (〒607-8169 京都市山科区柳北西浦町1番地の8)

※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

▶定員 350名 (応募多数の場合、抽選) ▶参加費 無料
※当選者には8月上旬頃にハガキでご連絡します



▶応募方法 / 事前申込みが必要です。京都いつでもコールへ申込み

■応募期間 6月20日(木)～7月12日(金)

■申込先 『京都いつでもコール』 午前8時～午後9時(無休)

電話 661-3755 / FAX 661-5855

おかけ間違いのないようご注意ください

「山科区人権映画のつどい」申込希望とお伝えいただき、氏名(ふりがな)と

電話番号・郵便番号・住所・同伴者(4名まで)の氏名(ふりがな)をお伝えください。



お申込みはコチラ
(京都いつでもコール二次元コード)

■主催 山科区地域啓発推進協議会 ■問合せ 山科区地域力推進室まちづくり推進担当 (電話 592-3088/FAX 502-8881)

■発行 山科区役所地域力推進室まちづくり推進担当

2018年に動員20万人を超える大ヒット
日本中を深い感動で包んだあの物語には続きがあった!

アルツハイマー病を患った母を
98歳になった父が懸命に介護する日々。
そんな中、新型コロナウイルスの波が押し寄せて
事態は急変する。



監督・撮影・語り
& ひとり娘
信友直子

ぼけますから、
よろしくお願いします。
～おかえりお母さん～

母が認知症になっても、父は変わらぬ愛を注ぐ
結婚生活60年を過ぎた90代夫婦の生きる道



2022年7月をバースデー・1019/ピタゴラス20代 監督・撮影・語り・信友直子 プロデューサー・渡辺 大直 監製 製作プロデューサー・稲葉友紀子
編集・日暮田 雄 脚本・河合 裕久 音楽・金田 賢二 演出・金田 賢二 製作プロダクション・スタジオ
製作・フジテレビ ネットテレビ 関西テレビ 信友家 配給・宣伝・アンパグッド ©2022『ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～』製作委員会 特許 www.bokemosu.com



法務省委託事業



～同じです あなたとわたしの 大切さ～

京都市印刷物 第062041号

京都市広報板揭示期間: 令和6年6月16日～6月30日

